



2018年9月 第442号

スズキ労連

2018年
9月号
労連定期大会
特集号

スズキ関連労働組合連合会
静岡県浜松市南区増楽町20
電話(053)447-3079 FAX.053-440-2838
発行人 武藤憲司
編集人 小松秀忠

第19回統一地方選挙必勝決議(案) 第25回参議院議員選挙必勝決議(案)

満場の拍手で承認!

第47回定期大会 開催

第46・47期大会スローガン

みんなでチャレンジ! 力を合わせ、無限の可能性を引き出そう!



大会会場風景

スズキ労連は、9月16日(日)9:30よりスズキ労連 第47回定期大会をSUN会館にて開催しました。代議員144名(男性107名、女性37名)、傍聴者60名(男性53名、女性7名)が全国各地より参加しました。今大会では47期の役員補充、予算(案)などすべての議案が承認されました。また、特別決議では、第19回統一地方選挙必勝決議(案)、第25回参議院議員選挙必勝決議(案)が承認されました。46・47期のスローガン“みんなでチャレンジ!力を合わせ、無限の可能性を引き出そう!”のもと、労働組合としての社会的役割をより一層自覚した上で、この1年間の活動を推進してまいります。引き続き皆様のご理解とご協力を宜しくお願いいたします。

【参加者】

代議員144名(男性107名、女性37名)
傍聴者60名(男性53名、女性7名)
来賓4名
顧問6名
執行部31名
書記2名

【報告承認事項】

- 1) 第46期活動経過報告
- 2) 第46期会計決算報告
- 3) 第46期会計監査報告

【議 件】

- 1) 役員辞任の件
- 2) 第47期役員補充の件
- 3) 第47期予算(案)の件
- 4) 顧問委嘱の件

【特別決議】

- 1) 第19回統一地方選挙必勝決議(案)
- 2) 第25回参議院議員選挙必勝決議(案)

【各種委員】 ☆印は各委員長

◎資格審査委員：4名

☆青島 智久<スズキ労連中執>
高橋 亨<スズキ労組 高塚支部>
仲村 明洋<スズキ労組磐田支部>
村松 賢司<スニック労組>

◎選挙管理委員：5名

☆飯尾 能将<スズキ労組>
佐藤 岳彦<スズキ輸送梱包労組>
菅原 一義<スズキ部品秋田労組>
藤田 栄一<岐阜スズキ労組>
猿喰 昭博<スズキ販売労組>

◎議事運営委員：4名

☆中野 雄一<スズキ労連中執>
山崎 直伸<スズキ部品富山労組>
藤田 一義<スズキ新潟販売労組>
中 勝也<スズキ納整労組>



左：金田 雅子(スズキ労組竜洋支部)
右：嶋 将吾(ベルソニカ労組)

◎議長団：2名

金田 雅子<スズキ労組竜洋支部>
嶋 将吾<ベルソニカ労組>

◎がんばろう三唱

伊藤 真将<スズキ輸送梱包労組>

◎書記：2名

久保 貴恵<小楠金属・熱処理労組>
坂澤真由姫<スズキ労連>

3)第47期予算(案)の件 (提案者：小松 副事務局長) 挙手で採決 満場一致で可決



3)第47期予算(案)の件
小松 副事務局長

4)顧問委嘱の件 (提案者：松浦会長代行) 拍手で承認

- スズキ労連 政治顧問 田口 章 静岡県議会議員
徳光 卓也 浜松市議会議員
岩田 邦泰(くにやす) 浜松市議会候補予定者
- スズキ労連 特別顧問 古川 正明 静岡県労働金庫 理事長
小玉 俊己 東北労働金庫 副理事長



4)顧問委嘱の件
松浦 会長代行



田口 章 政治顧問



徳光 卓也 政治顧問



岩田 邦泰 政治顧問



古川 正明 特別顧問

特別決議

1)第19回統一地方 選挙必勝決議(案)(提案者：中村副会長)

- 田口 章 静岡県議会議員
- 岩田 邦泰(くにやす) 浜松市議会候補予定者

拍手で承認



田口 章 静岡県議会議員



岩田 邦泰 浜松市議会候補予定者

2)第25回参議院議員選挙必勝決議(案)(提案者：中村副会長)

- いそざき 哲史 参議院議員

拍手で承認



いそざき 哲史 参議院議員

退任顧問 特別表彰

スズキ労連の発展にご尽力いただき、今回の大会にて退任される役員の方々に対し、これまでのご功勞に感謝と敬意を込めて、ここに表彰させていただきます。

氏 名：加藤 幸博

顧問期間：第40期～46期(平成23年9月～平成30年9月)

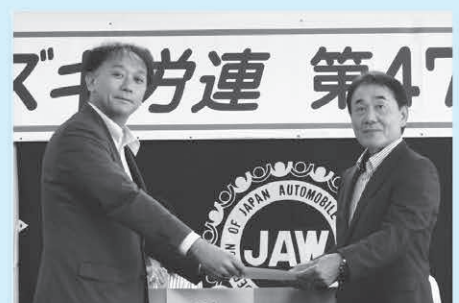
平成23年9月 スズキ労連 特別顧問

平成26年6月 全国労働金庫協会 専務理事

平成30年6月 全国労働金庫協会 専務理事 勇退

退任顧問挨拶

- ・長年に渡り、支えて頂き又ご協力いただき感謝申し上げたい。
- ・今後培ってきた経験を活かしていきたいと考えている。
- ・労連が地域社会の安心に向け活躍してくれることを期待している。



スズキ労連 武藤会長挨拶(要旨)



はじめに

日頃よりスズキ労連の活動に対し、ご理解とご協力、さらには地域活動においても、積極的に参加を頂いておりますことに感謝申し上げます。本日の大会は、46期1年間の活動を振り返り、検証すると共に、後半1年間の具体的な取り組みを進めるためのスタートを切る大会です。心ひとつに実りある大会となりますよう、よろしくお願いいたします。

1、ルールの正しい理解の徹底

8月に排出ガス・燃費試験の抜き取り検査の調査で、スズキでの不正があったとマスコミに報道されました。2016年より、正しいルールの理解と再発防止に向けた対応を行い、スズキグループの信頼回復につながるよう取り組んできました。その中で今回の件は、「残念」と言わざるをえません。不正は許されない社会になっています。この変化している社会構造にしっかりと対応していかなければ、企業の存続にも関わる問題と認識しております。私たち労働組合は、この変化に対応する会社施策への協力、法律などのルールの正しい理解の徹底、公正な競争に対する会社施策への協力は必要だと考えています。今一度、従来のやり方をそのまま行っているものはないか確認し、労使での取り組みをしっかりと進めていきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

2、グローバル化と産業構造変化

スズキグループ連結の国内売上よりも、海外売上の割合が増してきた現在において、国内の組合活動だけでは解決できない課題が海外で発生するとともに、海外の問題は日本にも大きな影響があること、海外の労働団体との連携の強化が必要になっていることを、8月末に開催したスズキ労連労使会議にて経営者のみなさんとも改めて共通認識に立つことができました。まだまだ、スズキ労連は他の労連と比べて、海外労組とのネットワークづくりにおいて遅れていますが、会社側の理解も

得ながら、海外労組を日本に呼んで交流を積み重ねるなど取り組みを進めています。一步ずつではあっても、話し合いによる問題解決を主とする日本の建設的な労使関係を、海外の関連企業にも確実に、かつ継続して伝えていくことが大変重要だと認識しております。引き続き、自動車総連、金属労協の仲間と連帯し、臆することなく確実に前進していきたいと考えます。加えて、自動車の電動化、自動運転等の技術革新についても、ドイツの自動車各社、アメリカのIT企業各社が、自動車とITをつなぐ仕組みづくりの構築を目指して多額の開発費を投入してきています。私たちスズキ労連加盟の企業も、その流れに乗り遅れることなく、生き残りをかけ、技術提携をはじめとした、あらゆる手段を用いて、この産業構造変化にも対応しなければなりません。その意味では、単年度の決算に一喜一憂することなく、2030年やその先を見据えて、自らの働き方の質を高め、安心して働くことのできる職場づくりに、労働組合の立場から取り組んでいかなければなりません。この産業構造変化の動向についても上部団体の自動車総連、金属労協との連携により正確な情報収集に努め、変化に対応していかなければならないと考えております。

3、高齢化・人口減少への対応

7年後の2025年には、「団塊の世代」のすべてが75歳以上となり、5人に1人が75歳以上となる人口推計が示されています。2025年には、職場の中核を担う40歳代、つまり中間管理職も含めた従業員の晩婚化に伴う育児と、高齢化に伴う両親の介護のダブルケアに直面する可能性も高まります。

また、人口減少による人財の雇用継続、並びに確保は、すべての産業・企業の課題となっており、人財確保が今後の事業の発展・存続を左右すると言っても過言ではありません。この認識の元、8月に労使セミナーを開催し、人口減少下の中で、どのような職場作りが求められるかを各加盟企業の経営者とも共有をさせていただきました。

国内では人口減少社会を前提とした「働き方改革」や「女性活躍」、「育児と介護の両立支援」など、従業員を代表する労働組合が関わる様々な政策が実施または検討されています。これらについても、

より一層、スズキ労連加盟企業の魅力向上につながる取り組みにしていかなければならないと思っています。

今から20年前の1998年に内閣府が公表した平成10年度の国民生活白書に『人口が増加する時代が終わろうとしている。19世紀初頭に約3,000万人であった日本の人口は、その後2世紀にわたって増加を続け、1998年には1億2,600万人となった。しかし、2007年前後にピークを迎えると見込まれている。総人口の転換に先立つ出生数の転換は、すでに半世紀近く前に極めて急激に起こった。(中略)今の中年世代が仕事から引退して高齢者となっていくとき、日本の社会は、世界の歴史のなかでも前例を見ない、本格的な高齢社会を迎える。様々な面での準備が必要になっている。』と記載されていました。20年前に政府の政策、つまり準備は大きく転換したでしょうか?私には20年前の課題が、目前に迫った現在に先送りされたとしたか、感じられません。

4、社会構造変化には政治の力が必要

私たちスズキ労連は、地方議会に自らの議員として、静岡県議会に「田口章」を、新人として浜松市議会に「岩田くにやす」を送り出し、地方行政においても2030年以降を見据えた取り組みを提言してもらわなければなりません。そして、自動車総連の私達の代表として「いそぎ哲史」参議院議員、静岡県の代表として「しんば賀津也」参議院議員を、再度、国会に送り出し、この目前に迫った課題に「私たち働く者の立場」を踏まえた、現実に即した対応となるよう、国会の中や各種委員会にて「はまぐち誠」参議院議員とともに活動をして頂かなければなりません。政治の話となるとトーンダウンしてしまう方が多いと思いますが、育児や介護など身近な課題も政治課題です。そして、先の豪雨や地震などの自然災害が発生した際に、被災した地域に、重機や自衛隊を派遣して行方不明者の捜索をするよう指示しているのも、政治の役割です。労働時間や休日を決めているのも、学校教育の方針や奨学金制度などを定めているのも政治の役割です。これら、私たちの生活に密接に関わる法律を定めるのが国会です。では、私たちに何ができるのでしょうか?ここにお集まりの皆さんの共通項は、自動車産業のスズキ関連企業に働く者という点のみです。私たちは、働くことで会社から給与を得ている勤労者です。給与から控除さ

れている税金の使い道を決めることができるのは、国会であり、地方議会です。その使い道を託すなら、私たちと同じ自動車産業の仲間、あるいは働く者の目線に立って活動してくれる国民民主党の議員である「いそぎ哲史」、「はまぐち誠」そして「しんば賀津也」に託したいと思いませんか?皆さんのご理解とご協力をよろしくお願いします。

5、今後の活動

私たちスズキ労連は、第41期より活動量を増やしてきた人づくりの教育活動や、加盟組合の活動サポート、各種会議体での活動を通じ、引き続き一人でも多くの方に理解頂けるような活動を展開してまいります。

また、前期初めて実施した労連としての組合員意識調査活動を今期も継続し、私たち労連あるいは労働組合の活動が、加盟組合の組合員にどのように受け止めてられているのかを確かめながら、加盟組合との連携強化を本当の意味で図るため、労連と加盟組合、加盟組合内での組合役員と組合員のコミュニケーション向上を図り、47期も全員で力を合わせ、チャレンジしていく1年にしたいと思いますので、ご理解とご協力をお願い致します。

結び

本日退任される顧問がいらっしゃいます。加藤顧問は1988年から組合専従役員を務め、2011年からは顧問として、通算で30年という長きに渡りスズキ労連、労働界に貢献をされてきました。これまでの活動に対して、心から感謝申し上げます。加藤顧問には後ほどご挨拶を頂く予定となっておりますので、よろしくお願い致します。以上、本日までご参加の皆さんのご支援とご協力を重ねてお願い申し上げます。これから1年間、共に頑張りましょう。ありがとうございました。

来賓のご挨拶



自動車総連 会長 高倉 明氏



いそざき 哲史 参議院議員



はまぐち 誠 参議院議員



しんば 賀津也 参議院議員

大会の来賓として、自動車総連の高倉会長、自動車総連組織内議員のいそざき哲史参議院議員、はまぐち誠参議院議員、静岡選挙区からは、しんば賀津也参議院議員にご臨席を賜り、ご祝辞を頂きました。来賓からは、スズキ労連第47期定期大会のご盛会に対する祝辞をいただき、近年の自然災害で被災された方へのお見舞いと災害への備えの呼びかけがありました。また、来年の統一地方選挙、参議院選挙の各候補予定者の勝利に向けて、ともにがんばりましょうと激励を頂きました。

報告承認事項

- 1)第46期活動経過報告 (提案者：渡部 事務局長) 拍手で承認
- 2)第46期会計決算報告 (提案者：小松 副事務局長) 拍手で承認
- 3)第46期会計監査報告 (提案者：梅田会計監査人) 拍手で承認



1)第46期活動経過報告
渡部 事務局長



2)第46期会計決算報告
小松 副事務局長



3)第46期会計監査報告
梅田 会計監査人

議 件

- 1)役員辞任の件 (提案者：渡部事務局長) 挙手にて採決 満場一致で可決
- 2)第47期役員補充の件 (提案者：松浦会長代行) 挙手にて採決 満場一致で可決

役員定数：変更なし 欠 員：中央執行委員：1名

役員補充 補充人数：中央執行委員 1名

任 期：47期末まで

役員補充選挙

開票結果 投票総数143票 有効投票142票

無効1票(内白票1票) 信任142票 不信任0票

立候補者信任

新役員 平岡ボデー労働組合 中尾真介



1)役員辞任の件
渡部 事務局長



2)第47期役員補充の件
松浦 会長代行



新役員
平岡ボデー労働組合 中尾真介

新役員就任挨拶

この度スズキ労連中央執行委員に選任されました、平岡ボデー労働組合の中尾真介です。このような活動の場を与えて下さった皆様に感謝するとともに、より一層の責任感をもって今後の活動に取り組んでいきたいと思ひます。



仲間の思い、
かたちにしたい。

参議院議員

いそざき 哲史

てつじ

isozakitetsuji.com



討議資料

どんなことでもOK!
お気軽にご相談下さい。

スズキ労連
労働相談
窓口

仕事、職場、労働条件、コンプライアンス、人間関係、私生活…
悩みはいろいろあるけれど、職場ではちょっと相談しにくいなあ。

こんな時にはお電話を!

0120-500-073
*月~金 9:00~18:00
相談無料・秘密厳守

【スズキ労連】機関誌に対するご意見・ご要望がございましたら編集部までお気軽にお寄せ下さい。

編集部 〒432-8062 浜松市南区増楽町20
TEL.053-447-3079 FAX.053-440-2838
e-mail : kaneko@suzuki-union.or.jp

◇スズキ労連ホームページ◇
<http://saw.gogo.tc/>
*スズキ労連の福利厚生・スズキ労連機関誌
共通パスワード… saw2007

【編集後記】

暑さもひと段落してきましたね、秋と言えば食欲の秋、キノコに関する話、「雷の落ちた所ではキノコが大量発生する」という古くからの言葉があるそうです。これを実際に、しいたけの原木に電流をながして収穫量が2倍になるそうです。昔の人の体験したことや知識は正しかったのですね。また、最近の研究では、桃などの木のツボに電気を流すと甘い桃が出来るらしいです。人間にも仕事出来るようになるツボがあれば押してもらいたいものです。 まーつー